

議会報告会報告書

開催日時	平成25年10月29日(火) 午後7時00分～午後9時05分				
開催場所	栄川中学校区（栄川中学校3F 多目的室）				
参加人員	47人				
出席議員	2 班	草賀 章吉	大石 與志登	雪山 敏行	山本 裕三
		渡邊 久次	榛葉 正樹	栗原 通泰	鈴木 正治
役割分担	班 長	草賀 章吉		司会進行	鈴木 正治
	報 告（議会）	草賀 章吉		報 告（水道）	栗原 通泰
	報 告（病院）	榛葉 正樹		記 録	雪山 敏行
	（質 疑）		（回 答）		
	<p>1 報告内容</p> <p>1) 身近でわかりやすい議会を目指して「議会の役割と責務」</p> <p>2) 命とくらしを守る水「水道事業の現状と課題」</p> <p>3) 市民に愛される病院をめざして</p> <p>以上3項目について担当議員から資料により説明し、意見交換した。 意見交換要旨は以下のとおり</p>				
議 会	<ul style="list-style-type: none"> ・2元代表制度についての資料に「市民」「住民」の表現があるが、議員の立場としては、市民目線が大切であると考えがどうか。 ・自己紹介で〇〇地区選出との表現があったが違和感がある。 ・地域の問題は地域の議員に頼ることが大切だが、多くの議員を知ることが大切であるのでこのような構成で良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「市民」に訂正する。 ・掛川市全体の議員であることに間違いはない。今回はこの地域の議員以外が伺ったため、どこの誰かが分かりやすくするために出身地を申し上げた。 		
水 道	<ul style="list-style-type: none"> ・水道需要が減少する中、このままの経営では破綻するしかない。大井川広域水道企業団の責任水量制の見直し等、負担について議会として県に働きかけたら良いのではないか。 ・合併前の旧掛川市における諸課題（道水路整備、未登記等）が未消化になっている。自己責任が果たされていない。（意見） 		<ul style="list-style-type: none"> ・水道経営については大井川右岸4市町で広域運営を目指していく。この中で、ダム負担等の問題をどう解消するか検討する。 ・基盤整備の問題については重要な課題でありご意見を持ち帰り検討する。 		

	(質 疑)	(回 答)
	<ul style="list-style-type: none"> 責任水量制の契約年数は何年間か。 掛川市の自己水源はどの程度あるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の水量は平成19年度に見直ししたが、次期の見直し年次は明確となっていない。見直しの議論はその時点での状況判断で対応することになる。 廃止した水源もあり全体給水量の10%程度が自己水源能力である。(具体的な数字を持ち合わせていないので機会があれば提供する)
病 院	<ul style="list-style-type: none"> 現状は医大やがんセンターに患者が流れている。身近な病院での対応が望ましく中東遠総合医療センターのPR・説明が必要ではないか。 患者の待ち時間が長いので、患者が他の病院に流れ、減少するのではないか。 <p>木割地区 岡本</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師不足は国が医学生を減らしたことが根本原因であり、この解消に向けて議会はこの問題を正面に受け止め、国に対し意見を述べる必要がある。 昨今の経済状況を反映し、国保税を払えなくて保険証を交付されず、その結果診療から遠ざかって病状が重篤になり医療費がかさんでいるのではないか。 新病院の掛川市民と袋井市民の利用割合は。 旧病院では救急患者のたらい回しがあったかと思うか新病院ではどうか。 浜岡原発を抱える中で、被曝治療に対する医療体制あるのか、また放射線に対する市民の不安に応える専門医が配置されているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 新病院の良さを伝えることが大切であり、担当にも伝える。議会もそのような活動を行う。 待ち時間は改善されつつあるが、ご意見は病院に伝える。 医師不足、国保税の問題については国の制度でもあるが、議会としてもしっかり対応したい。 5月から7月のデータでは 入院は掛川市民57.6%、袋井市民26.4% 外来は掛川市民56.2%、袋井市民27.3%である。 しっかりした救急体制が整っており、たらい回しはないと伺っている。 ある程度の放射線に対する知識を持った医師はいるかと思うか確認し回答する。
一般意見 提 言	<p>10月の理事区長会でごみ収集方法を掛川方式に統一、ごみ袋の有料化について平成26年度において実施すると市から説明を受けた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ゴミの問題については、全員協議会の場で説明を受けたが決定しているわけではない。現在、様々なご意見あるので市当局ではこの問題について各地域に伺い説明し市民の意見をお聞きし最終的に判断し議会に諮ることになる。

	(質 疑)	(回 答)
<p>一 般 意 見・提言</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の議会報告会は市が抱えている課題であり大事なことであるが、単なる事実のみの報告会でなく地元の議員も含めて地域が抱えている課題も議論する場として頂きたい。 ・ゴミ問題は最終決定ではないと伺いましたので、明日の当局の説明会で「決定している」旨の発言があった場合はそのようなことはないかと発言して良いか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回はテーマ設定し報告したが、地域の課題についての意見もいただき、議員全員で「共有化」して政策化したい。意見を出していただくことは大事である。 ・この問題は様々なご意見もあり、内容が変わることもあるので議会としても充分検討する。
<p>班長 あい さつ</p>	<p>初めての試みで、議会としても報告について勉強し報告出来たことは一歩前進であり、議会もなかなか良いことをしていると云われる報告会とする</p>	

議会報告会報告書

開催日時	平成25年10月30日(水) 午後7時 ~ 午後9時				
開催場所	(大須賀中学校区) 大須賀支所市民交流センター				
参加人員	53人				
出席議員	1 班	山本 行男	高木 敏男	堀内 武治	鈴木 久男
		鷲山 喜久	大場 雄三	小沼 秀朗	松本 均
役割分担	班 長	山本 行男		司会進行	小沼 秀朗
	報 告 (議会)	堀内 武治		報 告 (水道)	高木 敏男
	報 告 (病院)	鈴木 久男		記 録	松本 均
	受 付	鷲山 喜久		受 付	大場 雄三
	(質 疑)			(回 答)	
議 会	<ul style="list-style-type: none"> ・地元議員がないのか、地元に来て欲しい ・議会基本条例の説明会が、市役所で2回、大東で1回、大須賀では0回、討論会をどんな時どうやるのか必要事項を定めてあるとあるが、書いていない。 ・全国レベルで、ある市では傍聴者に意見を求めています。 ・地元議員に出席して欲しい。 			<ul style="list-style-type: none"> ・討論会は大切です。いろいろな意見を聞き、こんな予算がついているなど話していきたい、皆さんの意見を聞いて、政策を作ることが大切です。市民を背に、市長に申します。 ・傍聴者の発言はできません。 ・地元の具体的な話になってしまいますので、なしにして、班を組みました。 	
水 道	<ul style="list-style-type: none"> ・大井川広域水道企業団の責任水量制のため、水道料が高額になっている。責任水量制に問題がある、現状の水量制にしてほしい。 ・大須賀の良質な2万トンの水を、活かす事が大切である。捨てられている。大須賀は困っていない。自己水源がある為、議会でも対応してほしい。圧倒的に高いです、住民の幸せのためにも、議会で考えてほしい。 			<ul style="list-style-type: none"> ・長島ダム建設時から約束がある、期限約束できない。掛川が金額を減らせば、他の市から抜きたいと、言われたらもっと金額が上がる(焼津市など)。他市との関係もあるため、今のところできません。 ・勉強させていただきます。 	

	(質 疑)	(回 答)
病 院	<ul style="list-style-type: none"> • 主治医が病院の合併で名古屋に帰ってしまった。 • 掛川に行くのに、タクシーで4,500円かかります。議会でも何とかして欲しい。 • 中東遠医療センターは、なぜ病院と言わないのか、なぜセンターとしたのか。 • 開院から7カ月半が過ぎましたが、経営は大丈夫ですか。 • 会計の表示について、白抜きで黒文字に出来ないか。 • デマンドが何とかならないか。袋井のバスを利用しています。100円で行けます。 	<ul style="list-style-type: none"> • 医師は84名、研修医が11名います。磐田には110名、研修医は35名居ます。いい先生に学びたい、分析するとまだまだ質が課題です。 • 新病院への足の問題は、定期バスに変わる新たなバス路線を検討している、市に話しておきます。デマンドタクシーがありますが、足りないとの事で増やすと乗ってくれない、市と検討します。 • 一般公募で決めた。今から変える事は出来ない。 • 6年間は赤字です。旧病院も平成以降赤字でした、昨年10億以上赤字でした。今年の予算で言うと9億円を一般財源より繰り入れないといけない。㊦健全な経営していく事が大切です。入院患者も増えてきている、外来も目標に近くなった。ほぼシュミレーション通りです。 • できる事から対応しています。企業団に話します。対応委員会を作っています。意見ください。 • 市を越えて行けません。バスは市のデマンドバスですから、即答できません。
一般意見 提 言	<ul style="list-style-type: none"> • 横須賀城を宣伝してほしい。教育委員会はどうなっているのか。 • ゴミの問題で、10月9日の文書で新年度より開始とのことに議会はどうか対応するのか。議会を軽視しているので、撤回させろ。 • 文章を撤回させろ。 • 一市一制度なら、18分別を12分別にしてゴミの量も減るのか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 報告は受けています。検討します。 • 決定していません。11月議会で出てくるそうです、最終的には、議会で決めることですから。 • 分かりました。市当局へ伝えます。 • コスト削減、大東の焼却場も排煙の問題があり整備すると金がかかる。掛川で一ヶ所で焼却したい。広域体制なので菊川並みにしたい。分別・金額の話は議会としては当局の説明を「聞き置く」としてある。今後状況で判断して、善処していきます。議会も審議していきたいと思う。知らせるには、インターネットとか、必ず知らせますから、よろしくお願いします。

議会報告会報告書

開催日時	平成25年10月30日(水) 午後7時～午後8時55分				
開催場所	西中学校区（市役所4F 会議室）				
参加人員	69人				
出席議員	3 班	内藤 澄夫	大石 勇	窪野 愛子	二村 禮一
		野口 安男	中上 禮一	山崎 恒男	竹嶋 善彦
役割分担	班 長	内藤 澄夫		司会進行	大石 勇
	報 告（議会）	中上 禮一		報 告（水道）	竹嶋 善彦
	報 告（病院）	山崎 恒男		記 録	窪野 愛子
	（質 疑）			（回 答）	
	<p>1 報告内容</p> <p>1) 身近でわかりやすい議会を目指して「議会の役割と責務」</p> <p>2) 命とくらしを守る水「水道事業の現状と課題」</p> <p>3) 市民に愛される病院をめざして</p> <p style="text-align: center;">以上3項目について担当議員から資料により説明し、意見交換した。 意見交換要旨は以下のとおり</p>				
議 会	<ul style="list-style-type: none"> ・議会と執行機関との関係についてごみ有料化の問題では議会の役割が果たせていないと思うが議員はどのように考えているか。 ・執行機関の独走をチェックすると報告を受けたが、環境政策課から26年度から実施するという内容の公文書が市民に回覧されている。議会で議決していない。議会軽視の市当局のやり方をどのように考えているか。 ・いろいろな部分が整理されていない中で、行政側から26年4月からゴミは値上げすることだが値上げによる6,000万円は有効に使うとのこと。それはいかなものか。消費税や電気料も上がる。ごみの有料化は止めてください。 			<ul style="list-style-type: none"> ・当局の文書はそうした方向に進めたい意向だと理解しているが、11月議会で条例を審議し採決して可決しなければ前に出ない。まだ決定している事項ではない。 ・文書を見ていないので内容はわからないが、市当局の説明では議会ので了承を取りスタートする、との答弁があったが、そのあたりをしっかりとチェックする。それが今日説明した役割と責務ということだと思っている。 	

	(質 疑)	(回 答)
	<ul style="list-style-type: none"> 市からの書類を見ていないと言う議員がいたが、「ゴミ有料化についてのお知らせ」という文書には平成26年度より実施しますとある。議会の審議も議決も得ないでこのようなことがあっていいのか。議員が怒らないのは本当に困る。 市当局への議員としての対応の結果報告はいつあるのか。 平成22年議会改革特別委員会の改革に向けて検討項目を決定とあるが、どのような委員会をつくり改革に向けての検討項目は何か。それをどうしたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> わかりました。重く受けとめて行政に対応していきます。 「市議会だより」や市のホームページでお知らせする。 特別委員会では、特に議会基本条列で我々の活動を明確にすることを議論してきた。
水 道	<ul style="list-style-type: none"> 水は私達の生活に一番必要なことだが市の予算からは何パーセント費やされているのか。 市からの助成はないのか。 伊達方のため池、大池のため池は大井川の治水を使って保存しているのではないか。 記載の議会の対応はもっともなことだが、広域化への支援については料金体系の違いもあり非常に厳しいと思うが、議会が提案するのはどの位の可能性があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 別会計であるが法定基準内の1,400万円を出している。県からは毎年企業団に4億5千万円の補助がある。掛川市は13億円を支払っている。 ため池は農業用水で大井川から水を引き溜めて水田用に使用している。 水利権としてため池は全部農業用水で上水は使っていない。 平成27年度くらいには協議会を作るという動きはある。水道料金は各市によって負担は違う。統一して合併し広域化していくことで事業の簡素化が計られ、人件費等の削減になる。議会は4市の広域化を積極的に進めていきたい。
議 会	<ul style="list-style-type: none"> 新病院の来院者は当初の目標どおりか、掛川と袋井の比率はどうか。袋井聖隷病院が開院し袋井市民はそちらに行くのではないか。 今、当初の思惑通りの経営状態なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 5月から9月までの5ヶ月間、掛川市民57% 袋井市民27%。袋井の患者は掛川の約半分、合わせて83%位。 概ね予定通りです。想定した目標数値が月毎にあるがほぼ達成している。外来は1日1,300人を目標にしている。9月は1,224人、10月は若干落ちている。 企業会計であるから市からの持ち出しなく賄いが出るのがベターだが今のところ少し難しい。平成25年度の決算を待たないと正確なことは言えないが黒字には程遠い。目標の入院・外来患者を確保するためにいい先生に来てもらいたい。

	(質 疑)	(回 答)
<p>一般意見 提 言</p>	<ul style="list-style-type: none"> •ごみ問題について、行政当局の横暴なやり方に対して議会報告の内容とは違う議員の対応ではないか。新たな税金のような形だ。ごみの問題は白紙だ。議員の意見を聞きたい。 •公文書の内容はおかしいと議員が行政に言ってくればそれでいいのだが、それを議員が言わないから山田さんは怒っているのだ。 •今日 10 月 30 日学習センターでゴミの有料化について市民に説明会があるのは知っているか。 •ゴミ値上げの問題は行政の暴走だがそれを止めるのが議会だ。議決を経て市民に伝えるよう今後注意するように。 •内藤議員だけの発言だが8人の議員が市民が怒っていることに対してどのように思っているか聞きたい。 •明日にでも市役所に行き失礼なことをするなと、市長以下部課長に言って下さい。 •このような問題が通ると県総務課にも問い合わせをしたが、国の総務省に言ったら大変なことになる。条例で制定して初めて施行出来るものだ。このままでは市議会に汚点を残すことになる。ゴミ手数料の問題はこれから反対の運動をしていく。 •大勢の皆さんの要望だからホームページでの報告ではなく皆さんが理解できるような報告をして下さい。 •内藤議員はゴミを値上げする問題のことばかりと思っているが、市民は議会の議決無しの公文書が出るのがおかしいと言っているのだ。 	<ul style="list-style-type: none"> •ごみの問題は決まったことではない。11月の議会で結果を出していく。 •そのようなことが本当にあつたら言う必要がある。私は直接聞いていませんが、そういうことがあればそれは当然おかしいと言っていく。 •説明会は知っている。 •議員は共通認識であるので皆さんの意見は重く受け止めて12月の議会で結論を出していく。 •11月10日で9ヶ所の報告会が終了するのでその後、市民に報告します。 •そのような文書を出した当局にははっきり言います。9ヶ所からいろいろな問題が出ているのでそれをまとめて報告します。
		<ul style="list-style-type: none"> •遅くまでいろいろなご意見をいただき有難うございました。皆さんからいただいたご意見はしっかり受け止め、出来ることは議会の中でやって行きたいと思えます。

議会報告会報告書

開催日時	平成25年11月5日(火) 午後7時00分 ~ 午後9時08分				
開催場所	原野谷中学校区 (原谷地域生涯学習センター)				
参加人員	49人				
出席議員	1 班	山本 行男	高木 敏男	堀内 武治	鈴木 久男
		鷲山 喜久	大場 雄三	小沼 秀朗	松本 均
役割分担	班 長	山本 行男		司会進行	小沼 秀朗
	報 告 (議会)	堀内 武治		報 告 (水道)	高木 敏男
	報 告 (病院)	鈴木 久男		記 録	松本 均
	受 付	鷲山 喜久		受 付	大場 雄三
	(質 疑)			(回 答)	
議 会	<ul style="list-style-type: none"> ・9月議会を傍聴した、低調じゃないか。どの位質問したのか。 ・ゴミ問題で18分別を12分別で統一すると、渡邊議員から11月の議会に諮って、4月から値上げすると聞いているが、どうなんですか。 ・西環状線は平成20年に当時の戸塚市長がインターと同時にやったが、インターはできたが環状線はどうなったのか。原田地区の活性化のためにも完成してもらいたい。 			<ul style="list-style-type: none"> ・議会改革により活性化、市長も議員も対等です。市民を背中にしています。委員会などでも議論しています。みんな勉強しています。 ・部・課長から申し訳ないと話があった。議会が決める事です。11月に出来れば、全議員で討論し議会が決めます。 ・議会も行政から説明を受けていますので、要望を当局に伝えていきます。 	
水 道	質疑なし				
病 院	<ul style="list-style-type: none"> ・若い医師を育てないとダメ。若い医師は2~3年で出て行ってしまふ、医師が来やすい状況を作る。若い医師は施設の整った所に行ってしまう。 ・精神科と外科・内科がチームで治療にあたっているのをテレビで見た、掛川ではどうか。 			<ul style="list-style-type: none"> ・新病院は医師が97名います。100名を目指します。旧病院の時は研修医が0名でしたが、いま10名います。頑張っています。 ・掛川では、精神科の態勢ができていないですが、菊川には良い医師がいます。意見を持ち帰ります。 	

	(質 疑)	(回 答)
	<ul style="list-style-type: none"> • 延命表示をした方が良いと思いますが、掛川ではどうでしょうか。 • 献血の問題、成人として社会奉仕として進めてほしいです。 • 中東遠総合医療センターにどうやって行くのか、流れがわからない。紹介状・診断書慣れない。このぐらいの症状なら、このぐらいで治るとPRしてほしい。 • 職員数が合いません。正規（ ）内がおかしいです。 • 経営収支の赤字が続いたが、旧病院の時に治療費を払っていない人がいたが、いくら有ったのか。 • 未払いの件、残念です。 • 支援学校ができますが、静岡方式が脚光を浴びています、池新田・浜松城北・焼津水産などの専門過程の学校で専門的な事を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> • 延命は議論がありますね、議会でも議論します。委員会でも議論したい。臓器提供も考えていく。(Ⓐ) • 論議をしていきたい。 • むずかしいですね。医師の力量は、市民が判断する。良い医師でも最新機器が無いと、判断に困る。年に何回かの市民対象の勉強会をしています、事務組合でも、市民説明会をやるように言いたい。 • その他は事務員です。修正します。 • わかりません。 7年目から黒字の予定です。企業債として2分の1を収入で払い、残りは掛川6、袋井4の割合で返します。シュミレーション通りで動いています。経営状況は、8月は入院は目標より多くなった、外来も1,300人位で両市旧病院より増えている。9月は1,117万円の黒字です。皆さんも信じて病院を愛してもらいたいです。 • わかりません。宿題として話します。決算の報告書には書かれてないです。 • 静岡方式は、池新田でもやっていますが、試験があります、別の校舎です。掛川には、180名定員の県立支援学校ができます。掛西・工業・東と掛川区域にも3校の高校がありますので、教育長にも話していきます。 <p>先ほどの病院のスタッフですが、767人+203人=970人となり、その他については別勘定です。</p>
一般意見 提 言	<ul style="list-style-type: none"> • 今は多くの方が参加していますが、今後減ってしまわないように、意見を一般質問に取り入れて欲しい。 • 11月30日の駅伝は、15位以内に入りたいので、公務員ランナーなど議会からも言って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 議員も行って激励します。監督も替わり頑張っています。暖かく見守ってください。

議会報告会報告書

開催日時	平成25年11月5日(火) 午後7時 ~ 午後8時55分				
開催場所	北中学校区 (初馬会館)				
参加人員	87人				
出席議員	3 班	内藤 澄夫	大石 勇	窪野 愛子	二村 禮一
		野口 安男	中上 禮一	山崎 恒男	竹嶋 善彦
役割分担	班 長	内藤 澄夫		司会進行	大石 勇
	報 告 (議会)	中上 禮一		報 告 (水道)	竹嶋 善彦
	報 告 (病院)	山崎 恒男		記 録	窪野 愛子
	受 付	野口 安男		受 付	二村 禮一
	(質 疑)			(回 答)	
	<p>1 報告内容</p> <p>1) 身近でわかりやすい議会を目指して「議会の役割と責務」</p> <p>2) 命とくらしを守る水「水道事業の現状と課題」</p> <p>3) 市民に愛される病院をめざして</p> <p>以上3項目について担当議員から資料により説明し、意見交換した。 意見交換要旨は以下のとおり</p>				
議 会	<p>・議会の傍聴には時々行くので、議員の顔は知っているが名前はあまり知らない。興味のある委員会へ行きたいが傍聴はできるのか。</p> <p>・県議会の傍聴に行ってきた。後援会の人達が登壇する議員によって傍聴の入れ替えをしていた。掛川の市議会も年に1度くらいそのようにすれば、一般質問の回数が少ない議員はいなくなり、議会が活性化するのではないか。</p> <p>・インターネットも結構だが議会に興味を持つのは年寄りが多い。インターネットができると思うか。</p>		<p>・委員会も公開となっているので申し込みをすれば傍聴をすることが出来るが、委員会室で開催する為、5~6人の席の用意となる。ホームページで議事録の閲覧ができる。</p> <p>・ありがとうございます。市議会の傍聴には後援会の方も見えるが一般の方も見える。自然の流れの中で入れ替わっている。インターネットのライブで流れているので誰がどんな質問をするかわかる。傍聴は基本的に自由だ。</p>		
	<p>上西郷地区 中山</p> <p>・傍聴者が少ないと思う。</p>		<p>・開かれた議会ということだから傍聴を増やすために広報に努めて行きたい。</p>		

	(質 疑)	(回 答)
	<ul style="list-style-type: none"> 市民に対して一般質問の通知が遅い。日程は広報でわかっているが、どのような質問をするのか1週間から10日位しないとわからない。もっと早く知らせたい。出来たらひと月くらい前をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般質問の通告は10日前になっているので現状では難しい。
水 道	<ul style="list-style-type: none"> 大井川広域水道企業団からの水を止められては困るので、企業団から言われるままの金額を払っているのではないか。企業団にはプロパーが入ったままで停年まで勤務している状態で、行政改革や賃金のこと、会計監査はどうなっているのか。 年間総給水量と純損益の推移グラフで平成22年度と平成21年度では給水量は同じなのに純損益がプラスになっているのはどうしてか。 水道事業はいいように思う。今1m³250円ですか。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業団には7市の首長も入って運営、経営している。チェック機能を働かせて会計監査も行っている。詳細は手元に資料が無いので後日調査して解答する。 経費の削減を図っているが、一度水道料金の値上げを行った。 掛川市が皆さんに配給している単価は1トン当たり175円です。企業団から買って人件費、管理費を加えると180円位となる。経費のほうか少し高くなっている。
病 院	<ul style="list-style-type: none"> 中東遠医療センターの人間ドックより磐田総合病院のドックへ行くのは何故か。 中東遠の名倉院長は名古屋大学だからドックも名大だが、磐田は浜松医科大学だ。その違いで磐田のドック利用が多くなっている。もっとPRして中東遠医療センターに来て貰うようにしなくてはならない。 新病院は非常に混んでいて計算に時間がかかるので、計算処理をスムーズに行う方法についてどのように考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 新病院にも日帰りと一泊のドックがあり、今現在ドックを利用している人が結構いる。磐田と遜色ない。 現在新病院の日帰りドック利用者は月に900人くらいです。今後もPRに努めていきます。 計算処理のところの苦情は開院当初が一番多かったので極力改善に努めて機器も増設し人員も増やして対応している。なお一層のスピードアップを計るよう努めていくように病院側に伝えます。

	(質 疑)	(回 答)
	<ul style="list-style-type: none"> • 会計の待ち時間については、この頃では少し分改善されてきたように聞いている。 • 新病院の看護師が大変威張っている。もう少しサービスを良くしてもらいたい。森町病院の看護師や他のスタッフの方たちもひじょうに対応がよかった。新病院もその辺の改善もお願いしたい。 • 掛川駅から新病院へのバスのアクセスがひじょうに悪いと思う。運行本数を増やし乗車場所がよく解るようにしてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 新病院の一番の売りは救急医療の提供です。10月1日に新に救急医を採用した。5名となり救急患者に対応している。今後も一層の充実を図っていく。 • よく受けとめておき、病院の職員に伝えます。 • 病院への公共のバスについては課題があると承知している。乗り換えもあり不便なところは今後の検討課題とする。
一般意見 提 言	<ul style="list-style-type: none"> • 市の指定ごみ袋の件で市民に選ばれた市議会の方をないがしろして値上げの話をどんどん進めていると聞いたが、今の状態は許されることなのか疑問を感じている。大東・大須賀の分別の変更も必要があるのか。 • 焼却場には市の職員は何人勤務しているのか。ごみの受付が9:00からで16:00で終わってしまう。搬入の車が渋滞しているため2名の交通整理員が出ている。8:00から16:45頃まで受け付けるようにしてほしい。 • 掛川地区は公用地の市道の整備に現物支給だけではできない部分があるので、そうした所は市がもっと対応して欲しい。 • いこいの広場の野球場のグラウンドが堅くてエラーばかり出る。また、照明施設が無いので3試合やるのが当たり前なのに2試合しか出来ない。この件についてどのように思うか。 • 今のような意見を言える場所は無いのか。議会報告の場所と言うより、それに応じた場所は無いのか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 議会には全員協議会の折当局から値上げをしたいという報告があった。12月の議会で審議をし結論を出していく。市側から修正をした文書が改めて市民の皆さんに配布されるようになる。今後地区ごとに説明会が開催されることになっている。 • 基本的に民間委託で行っており市の職員は1名です。ゴミの受付時間は即答できないが改善できるか今後検討していきたい。 • 町中より田舎ほど道普請、道路の修復、草刈などの負担が大きいので行政の方にその旨伝えておきます。 • 市民総代会があるのでその場を出して頂けたら良いのではないかと。球場については財政の問題もあり市民の皆さんから寄付を募ってやっているが、なるべく早い時期に球場の施設整備ができるように当局に働きかけていきます。

(質 疑)	(回 答)
<p>倉真地区 染葉</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日の議会報告会に地元の議員が入っていないのはどうしてか。先ほどの回答の中にインターネットを使用するようにとあったが回答者の中に倉真を知っている人がいたらインターネットを使用するようには言わなかったと思う。倉真には回線が入っていないので実情がわかる人がいたほうがいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> インターネット使用については大変申し訳ありませんでした。今回の議会報告会は地元議員の参加ではなく、掛川市全体をそれぞれの議員が見させていただく機会にもなるということで、このようなかたちを取らせていただきました。
<p>葛ヶ丘地区 後藤</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットの話が出たが、豊田市では81歳でも91歳でもインターネットをやる人がいる。市の広報も掛川市のような広報は出ない。80すぎから始めて94歳の人かやっている。やる気と情熱があればインターネットはできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 光ファイバーが敷設されたので今後、誰もがインターネットを使用する、そのような機運が高まってくると思う。

議会報告会報告書

開催日時	平成25年11月7日(木) 午後7時00分から午後9時00分				
開催場所	桜が丘中学校区(和田岡地域生涯学習センター)				
参加人員	59人				
出席議員	2班	草賀 章吉	大石 與志登	雪山 敏行	山本 裕三
		渡邊 久次	榛葉 正樹	栗原 通泰	鈴木 正治
役割分担	班 長	草賀 章吉	司会進行	鈴木 正治	
	報 告(議会)	草賀 章吉	報 告(水道)	栗原 通泰	
	報 告(病院)	榛葉 正樹	記 録	雪山 敏行	
	受 付	山本 裕三	受 付	渡邊 久次	
報告に関する 質疑	(質 疑)		(回 答)		
	<p>1 報告内容</p> <p>1) 身近でわかりやすい議会を目指して「議会の役割と責務」</p> <p>2) 命とくらしを守る水「水道事業の現状と課題」</p> <p>3) 市民に愛される病院をめざして</p> <p>以上3項目について担当議員から資料により説明し、意見交換した。 意見交換要旨は以下のとおり</p>				
議 会	(質 疑)		(回 答)		
	<p>・掛川市のHPを見ると政務活動費が毎年170万円前後執行されていないことは如何なるものか。また、執行残があるならば減額提言があっても良いのではないか。しっかり勉強し市政に反映することが大事である。</p> <p>・市長・議長交際費の公表は良いことである。市に功績を残した市議等に香典、花輪を出しているが民間感覚では如何なものか。議長交際費(慶弔費)の使途基準があるのか議会として出すとすれば議員の積立で対応すればよいのではないか。</p>		<p>・政務活動費は議員一人当たり年間30万円が各会派に出されている。使用額は個人毎にばらつきはある。執行残は不要額として処理している。今後は議員がもっと勉強すべきあり減額は考えていない。</p> <p>・議員として花輪を出すこと及び本人出席でなくては香典も禁止されている。積立については、個々の功労者に対する思いも違いもあるので議会の中でも議論したい。</p> <p>・議会に功労あった方に市議会として儀礼の範囲内で出している。議員としてどこまでいいのかわからない点もあるが市議会として出している。</p>		

	(質 疑)	(回 答)
水 道	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松市において使用量が減った要因として家庭使用量は変わらず企業が井戸水を使用し減量したといわれているが、掛川市において家庭と企業の使用割合はどのようになっているのか。 ・掛川市において使用量が減少しているが、企業団から受水量を見直す考えはあるのか。 ・中国系の資本が北海道の原生林を買い占めていると聞いているが、大井川水系ではどうか。 ・大井川上流部で山梨県側に取水されているが山梨県側各市の水道料金はどのようになっているのか。 ・水道広域化についてメリット・デメリットあると思うが他市の感触はどうか。 ・吉岡橋に架設されていた水道管が古く心配していたが新橋に移設され安心した。 (御礼) 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的なデータは持っていないが、当局の報告によれば人口減、企業の節水意識の高揚により全体として7.7%減少していると伺っている。 ・責任水量制には複雑な問題がある。受水割合で負担する契約で、今後の償還額が減少することも考えられるが、現段階では受水量の見直しは困難であるとの行政側の判断である。この問題については議会の政策課題として、時間はかかるが十分研究しその対応について関係市及び国・県に働き掛けたい。 ・北海道や富士山水系ではそのようなことがあると聞いているが大井川水系ではそこまでのことはないと見ている。 ・調べていないので答弁はできない。調べてみる。 ・昨年度、掛川市長が提言した広域化について市長レベルでは勉強会を行うことは賛同を得ている。現場サイドはそれぞれ置かれている状況も違うので機が熟していないとの見方がされているが、将来的には同じ状況になることも考えられるので27年度頃までには掛川市が主導して他市に対して協議会的な組織を立ち上げるよう働きかける。
病 院	<ul style="list-style-type: none"> ・病院バスの件 袋井市のバスが朝晩袋井地内(宇刈方面?)から吉岡地内を通過するが、吉岡地区の住民が利用できるのか ・母が救急で新病院にかかったが、担当の女性医師の対応が良かった。 ・エレベーターへの動線と待合スペースの動線が交差しよろしくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大須賀でもそのような話があったが、袋井市との連携が図れていないので現状では困難かと思うが協議したい。 ・意見は議会でも共有し、病院にも伝える。

	(質 疑)	(回 答)
病 院	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多く待ち時間も長い。PET 検査を受診したがその結果について、医師から「なんでもない」との口頭による診断結果であったが、検査内容を知る権利もあるので診断結果を書面でいただきたい。 ・病院にかかる場合、医師を指名することがあり、近隣の市町に名前が届くような立派な医師を育てて頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を病院に伝える。 ・名医の確保は医師不足の解消にもつながるのであるため議会としても要望する。
一般意見 提 言	<ul style="list-style-type: none"> ・議員の行政視察から政策に至った事例はあるのか。また、議会 HP に視察に来訪する者の情報はあがるが、出向いた場合の情報も掲載されたい。 ・国保担当部局から、診療費の通知があるが市民は望んでいるのか目的が分からない。不要ではないか。 ・掛川市の施策が最先端を走るよう議会活動をしっかり行っていただきたい。他自治体からの受け入れは有料にするすくらの活動を願いたい。 ・水道料金と財政状況のワースト3位は同じ、リーマンショック以後工場誘致した自治体は税収減に陥ったこと経験から、安定した税収確保の面から企業誘致は工場誘致のみならずサービス業誘致も含めバランスのとれた企業誘致を願う。 ・10月の地区集会で市長がごみの有料化ついて話したが、市はどのようなことを考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政視察は必ずテーマをもって実施しており、議会基本条例等ほとんどのものが市政に反映されていると思う。また、議会だよりでも報告したい。 ・国保通知は医療費がこれほど高額であるのかを知って頂くこと及び 診療費の不正請求防止を図るためである。 ・最近の受け入れは幼保一元化、議会の運営、ごみ減量、防災対策をテーマとしたものが多い。 ・ご意見として伺っておく。 ・ごみ袋の有料化については最終的に決定したわけではなく現在市当局が皆様に説明やご意見を伺っているところです。内容は ①旧大東・大須賀地域のごみの分別方法を旧掛川・菊川方式に統一 ②ごみの減量や財政状況等勘案してごみ袋の有料化 ③スケジュールは来年4月からを考えているが定かではない。

	(質 疑)	(回 答)
	<ul style="list-style-type: none"> • 南北道の整備促進を。 • 新東名森掛川ICと国道1号線を結ぶ幹線道路(西環状線)を優良農地を避ける形で整備願う。 • 広域避難所運営マニュアルは5年ほど前に作成されたものであり、東北大震災の経験やヨウ素剤の配布、女性への配慮など課題もあり内容が見直されていないがどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 今回の報告会は地元議員が参加しない形での会になっているがそれぞれの地域の課題を議員全体の共通認識と捉えることも開催目的の一つである。 • 危機管理部にしっかり伝える。
		<p>(水道事業に関する説明の補足)</p> <p>大井川上流部で最大6m³/秒ほど東京電力発電用水として山梨県側(富士水系)に取水されている。平成16年頃水利権の変更更新があったところであるが今後も大井川に係る利水問題を注視していきたい。</p>
班長あいさつ		<p>開催にあたり不安もあったが結果として「良かった」感じている。また、開催に向けて議員も勉強して臨めたことも意義のあることと思っている。今後市が実施している地区集会以上の内容として政策提言につなげたい。</p>

議会報告会報告書

開催日時	平成25年11月8日(金) 午後7時 ~ 午後8時55分				
開催場所	東中学校区（南郷地域生涯学習センター）				
参加人員	77人				
出席議員	3 班	内藤 澄夫	大石 勇	窪野 愛子	二村 禮一
		野口 安男	中上 禮一	山崎 恒男	竹嶋 善彦
役割分担	班 長	内藤 澄夫		司会進行	大石 勇
	報 告（議会）	中上 禮一		報 告（水道）	竹嶋 善彦
	報 告（病院）	山崎 恒男		記 録	窪野 愛子
	受 付	野口 安男		受 付	二村 禮一
	（質 疑）		（回 答）		
	<p>1 報告内容</p> <p>1) 身近でわかりやすい議会を目指して「議会の役割と責務」</p> <p>2) 命とくらしを守る水「水道事業の現状と課題」</p> <p>3) 市民に愛される病院をめざして</p> <p>以上3項目について担当議員から資料により説明し、意見交換した。 意見交換要旨は以下のとおり</p>				
議 会	<ul style="list-style-type: none"> ・政務活動費は一人いくらと最初から決まっているのか。 ・一問一答方式は議会が活性化されてひじょうに良いが質問の内容の重複を避けるために代表質問などを取り入れていく意向はあるか。そのメリット、デメリットについて考えているのか。 ・議会報告会はひじょうに良いと思うが、年に何回くらい開催するのか。参加者に若い人が少ないが議会のことを若い人にも聞いてもらいたいと思う。地元選出の議員ではなく他地区議員が出向くことが良いと思う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・政務活動費は一人月当たり 25,000 円が会派に割り当てられている。例えば創生会へは 16 人×25,000円が月当たり支給され活動毎に領収書を添えて報告する。 ・代表質問を取り入れるという動きは今のところは無いが、今後検討していきたい。一問一答についてはたいへん解りやすいと評価をいただいている。 ・今日は最初の一步であります。1年に1回くらいの予定で考えているが、若い人の参加を増やすために今後検討していく。 		
水 道	<ul style="list-style-type: none"> ・榛村元市長は病院で使用する水が地震などの緊急の事態になったときも切れることがないように旧病院の水への備えには万全を期したが新病院はどのようにしているのか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・新病院の水への備えは充分に対応している。3日分の水を貯水し、敷地には配水池を設けている。 		

(質 疑)	(回 答)
<ul style="list-style-type: none"> • 水道事業の貸借対照表は付けないのか。 • 表7の構成自治体の契約水量の表の1日最大使用水量の意味が解らない。 • 払うお金が決まってい入るお金が減るとたいへんだということだが、この支払いは何年続くのか。 • もらっている水は契約者が減ることにより給水が余るのではないか。受水者が減りお金は入らないが、余った水はどうなっているのか。 • 水道事業に投資した何億もあり、それを返済するために料金を払っていると思ったが、ランニングコストに対処するためということになるのか。 • 人口増加はほとんど考えられないと思う。水道料金の状況で、一般会計から14,819千円の繰り入れをしているのか。市の財政状況でこの金額が変わってくることも考えられる。市の水道料金にも大きな影響が出てくる。企業団の問題や職員数を減らすことだけではなく、改革のためにも具体的に聞きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 今回の資料としては用意しなかったが、企業会計の水道と病院については議会で、その年度の貸借対照表、損益計算書をしっかりチェックしている。今後皆さんの要望に応じて必要な資料は提示できるものは提示していく。 • 現在7市で160,700 m³の契約をしている。掛川市は56,900 m³の最大水量を契約している。常時は44,900 m³でこの量を越えると料金が変わる。最大56,900 m³まで使えることになっている。平成19年頃から融通水量ということで現在の水量になった。 • 受水量は責任水量制となっており債務負担の応分負担もあり支払いはエンドレスだと考えている。 • 使われていない水はどうなっているのかの質問に表6で説明をします。各家庭のメーターを通った水の量が給水量、配水量は企業団の水と自己水源を合わせた水量、使える水と実際に使った水は86.7%だが配水ロスなどもあり、企業団にはお金を払っている。 • 投資したものだけではなく、水道部には22名の職員がいて水道の管理を行っている。水道管の更新などのランニングコストもかかる。人件費削減のためにも水道事業の広域化を他市にも図っていきたい。日頃の経費削減にも努めていく。人口、給水人口も増やしていくことが今後の課題。 • H24年度は一般会計から1,400万円程投下した。法定繰入金といって法律で決められた範囲であればよい。今後水道料金値下げの為に繰入金を増やすことは難しい状況である。いつかは水道料金についても市民の皆さんに考えていただく時期が来ることになる。

	(質疑)	(回答)
病 院	<ul style="list-style-type: none"> •最近、かかりつけの開業医の紹介で新病院で受診したが、対応がひじょうに良くスムーズな検査をしていただいた。其の体験から一次医療のかかりつけの病院を持つことが必要だと思った。新病院の運営については議員の皆さんもひじょうに注意して当たられると思うが、開業医とはどのような接点を持っているのか。一次医療の開業医へまずは受診するというアピールを市民にすることが必要で、それが新病院の機能を高めることになると思う。 •新病院はよく利用しているが、予約日を変更したら予約票に記載された4つの検査項目の内2つが落ちていた。5月6月は開院間際で仕方ないと思っていたが、半年たってもこのような状態で驚いた。機器が使いこなせていないか、不備があるのかわからないが旧病院ではなかったことだ。原因究明を願う。 •今日の資料の掛川市の地域医療連携体制の表の退院支援のところ、一次医療のかかりつけ医も加えたほうが良いと思う。高齢者のみならず一般の患者の退院後の見守りにはかかりつけ医の存在が大きいと思う。 •来院者の声にもあるが院内の案内表示が小さくて見にくいのはデザイン性を高めるあまりに一番の弱者が行く場所だという意識が低かったのではないか。今度できる希望の丘の施設はデザイン性を最優先しないで使う人の身になって表示等の考慮をしてください。 •希望の丘の構想については市と法人が連携をとることが必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> •一次医療は開業医へ受診しその後必要に応じて二次医療を受けていただくように、地域医療推進課ではお願いしている。病診連携や病病連携も図っている。市民活動として3年前から「f・a・n地域医療を育む会」という団体が130人ほどの会員で組織され、市民として地域の医療を大切に守り育てていくために様々な活動を展開している。 •病院にはそのようなことがないように申し伝えます。 •今回の表はどちらかというと高齢者向けとなっている。市は在宅医療を推進しているが、ふくしあは若い人も充分活用できる。必要があったら相談してください。 •院内の案内表示はさらに工夫すべき所があるのかなと思うので検討するよう申し伝えます。その反省を踏まえて希望の丘は民間の施設となるが担当課を通じて要望します。 •8つの施設ができるが違った団体の運営となるので円滑に運営するためには市が調整しながら連携を図り主導していくように提言していく。
一般意見 提 言	<ul style="list-style-type: none"> •先ほど水道料金を今後値上げをして行かなくてはいけないような話があったが、今一番問題になっているごみの問題が何も出ていない。議会と行政当局とのごみに関する問題はどのようになっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> •ごみの問題は当局の対応に大きな問題があった。自治会へ環境政策課から平成 26 年4月1日から値上げありきの文書が出たが、その文書は修正するように申し入れたので新たな文書で市民の皆さんに理解を求め地区ごとの説明会を開く。議会としても今の状況ではなかなか賛成しにくいと考えている。

議会報告会報告書

開催日時	平成25年11月9日(土) 午後7時 ~ 午後9時				
開催場所	大浜中学校区（大東支所市民交流センター）				
参加人員	48人				
出席議員	1 班	山本 行男	高木 敏男	堀内 武治	鈴木 久男
		鷺山 喜久	大場 雄三	小沼 秀朗	松本 均
役割分担	班 長	山本 行男		司会進行	小沼 秀朗
	報 告（議会）	堀内 武治		報 告（水道）	高木 敏男
	報 告（病院）	鈴木 久男		記 録	松本 均
	受 付	鷺山 喜久		受 付	大場 雄三
	（質 疑）			（回 答）	
議 会	<ul style="list-style-type: none"> ・第2章第2条(2)は何か。 ・議員の24名はどうか。 ・13年過ぎて政策条例で何本の条例が出ていますか。 ・13年経って政策条例を作るのが当たり前です。地元議員から報告もなく、政策条例は0です、広く市民の声を聞いてほしい。 			<ul style="list-style-type: none"> ・市民の意見を市政に反映させることです。身近な議員に出していただきたい。 ・平成19年に議論の末2割減の24名にしました、妥当だと思います。常任委員会等は最低8名の議員が必要です。大学の先生も言っています、近隣の状況、市民の声を聞き検討します。 ・意見書を議会中に変更させた事もあります。議会の一般質問だけが、議論しているように思いますが、全員協議会では、活発な議論をしています。 ・政策を明記するより、明確にする為にも政策討論会を作りました。特別委員会で視察をして、議会のあり方・議員のあり方が変わってきている。第一歩としてやっている。バックは皆さんです、対案が出ていますがこれからはそうして行きたい。 	
水 道	質疑なし				

	(質 疑)	(回 答)
病 院	<ul style="list-style-type: none"> ・11 科目あって99人。11 手術室があり、活用しているのか。 ・高額でビックリです。 ・大須賀からタクシーで、8,600 円掛かります、アクセスが悪く、磐田に行ってしまう。南部からの道は、ジェットコースター道路です。道も痛むし、何とかならないか。 ・早期とはいつですか。いつまでも早期はおかしい。 ・病院のアンケートが有りましたが、結果が出たら教えてください。(10 月頃のアンケート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・10 月の医師は97 名で研修医が10 名います。医師や医療機器が充実してきた。救急は全部受け入れています、4 名の専門医が入っています。リニアックは3 億円します、動いている臓器にピンポイントで打てます。ペット CT は米粒の大きさの腫瘍でもわかります。今までは175 列でしたが、320 列に切る事が出来ます。最新の機器とチーム医療で、今までは、救えなかった命も救う事が出来るようになりました。 ・デマンドタクシーですが、大須賀でも出ました、聞いておきます。私も感じる。南北幹線道路が出来ないとだめです。部分的にもアップダウンを減らすように、議会や委員会でも詰めていきたい。上内田からも出ています。討論会で出します。 ・議会として政策に入れて、協議して行きたいと思えます。 ・結果が出たら出します。外来のサインが見にくいと言われています。検討中です、待ってください。
一般意見 提 言	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者 65 歳以上 27,000 人、78 歳以上 11,750 人です。100 歳以上が、42 名で今後介護施設は大丈夫か。 ・地震対策。3 億円の寄付の根拠は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧病院跡地に、老人施設を作ります。国は在宅を勧めています。すぐには解決しないと思えます。議会でも支援を考えていきます。意見を持ち帰ります。待機老人は 79 人だと思えます。この地域は県下でもNo.1 の充実した地域です。民設・民営が基本です。福島が法人が 100~120 床の特養を作ります。 ・わかりません。職員・市長・議員も給与カットして基金に積み立てています。浜松も何億円かしています。県も巻き込んで、議会も生命・財産を守る事が一番と考えます。

	(質 疑)	(回 答)
	<p>・二元代表制で議会はチェックしているのか。防災で津波の高さが低くなった、保健センターでいいのか、北から南には逃げない、議会で言わないのか。</p> <p>ゴミ袋値上げは賛成！市民の意見を聞いてほしい。議論・意見をしたか見えるようにしてほしい。</p> <p>・議会でも、理事区長会でも議論を重ねて来たのか、議会も区長も軽視していないか、話しているのか。</p>	<p>・津波は誰でもそう思う。計算があったと思う、特別委員会で論議しています。ゴミ袋は値上げするようですが、最後は議会で決めます。議会の使命です。チェックは、決算・予算・条例など市長が言っても最後は議会です。市民を背中にして意見を言います。必要によっては条例にしていきます。ゴミ袋は、行政の勇み足です、部課長も謝罪に来ている。文書で説明する。</p> <p>・チェックしています。</p> <p>ホームページ・議会だよりなどでも、また議会で集約して定義して行き、提案を報告して行きます。</p>

議会報告会報告書

開催日時	平成25年11月10日（日） 午後7時00分から9時00分				
開催場所	城東中学校区（大東北公民館）				
参加人員	53人				
出席議員	2班	草賀 章吉	大石 與志登	雪山 敏行	山本 裕三
		渡邊 久次	榛葉 正樹	栗原 通泰	鈴木 正治
役割分担	班 長	草賀 章吉	司会進行	鈴木 正治	
	報 告（議会）	草賀 章吉	報 告（水道）	栗原 通泰	
	報 告（病院）	榛葉 正樹	記 録	雪山 敏行	
	受 付	山本 裕三	受 付	渡邊 久次	
報告に関する 質疑	（質 疑）		（回 答）		
	<p>1 報告内容</p> <p>1) 身近でわかりやすい議会を目指して「議会の役割と責務」</p> <p>2) 命とくらしを守る水「水道事業の現状と課題」</p> <p>3) 市民に愛される病院をめざして</p> <p>以上3項目について担当議員から資料により説明し、意見交換した。 意見交換要旨は以下のとおり</p>				
議 会	（質 疑）		（回 答）		
	<p>議会の役割としてチェック機能があるが、市財政について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相当額の借金があるが、年間の収入に対してどの程度か。 ・財政支出削減のポイントは如何に。 ・いつ頃までに返済できるのか。 <p>・借金体質に安住するのではなく蛮勇をふるって削減すべきある。ここは重点的に削減するとの目標をもって市政運営を。</p> <p>・ごみの問題について、市当局は議会も承認したかのごとく文書を出しているが議会としてどのように考えているのか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度値で起債残高は465億円で将来負担比率は91.1%で県内市でワースト3位である。現在の将来負担比率は病院建設等により123%となっている。 ・様々な分野への投資の結果であるが、今後はもっと厳しくチェックする必要がある。ただし、必要な分野には投資する必要がある。 ・いまだに達成されていない分野もあるが議会としてただ徒に削減すれば良いわけではないが、無駄なものをやらないようしっかり対応する。 <p>・8月の全員協議会で報告があった。平成22年度から市民の代表者等と分別収集方法の統一、ごみ袋の有料化、ごみの減量化について話し合いを行い、その結果を踏まえ市当局から今後の「対応策案」示された。議会としては報告を受けた形となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文書については市当局の「勇み足」で「実施」を「予定」に訂正した。 		

	(質 疑)	(回 答)
議 会	<ul style="list-style-type: none"> ・議員は市民の意見を聞くといっているが、どのように対応するのか。 ・反対意見もあることを理解願いたい ・現場の状況を見て、そして幅広い意見を吸い上げて頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・11月議会に提案があれば正式に審議する。市民の意見については様々な意見を伺っているので、これを踏まえ市当局・議員同士で議論する。 ・十分承知している。 ・市当局もそれぞれの地域での説明会を予定しているのでご意見を出してください。
水 道	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が節水しても赤字は減少しないと解釈してよいのか。 ・水道企業団との契約は何年更新か。 ・水道事業は企業で言えば破産状態であり、赤字解消に向けて議会としてどのような議論をしているのか。また、いつまでに赤字解消するのか。 ・いつまでに返済するのか議会として責任をもって議論を。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現実には節水（需要が減少）すれば赤字となるが、節水するなという事でない。この問題は政策課題としてとらえ、責任水量制について見直しは簡単に解決できる問題でないが、同じ課題を抱える4市で「企業团的」な組織を立ち上げる中で経費（人件費等）の削減も可能であると考えている。水道事業の広域化について行政と連携して議会としても積極的に進めたい。 ・更新期間は定まっていない。これまで投資した費用の償還や施設更新もあり、いつ見直しができるかわからない。市負担の減額については、これまでも国・県の助成はあるが、助成の増額は政治的課題である。 ・現状では51億円の起債残高があるが、なにも投資しないと仮定すれば約30年で償還できる勘定であるが、今後の施設更新もあり収支バランスを注視していくことが議会に求められる課題である。 ・水道事業会計は主として受益者の負担によって成り立っている事業で一般会計と違いがある。一般会計からの繰入は掛川市全体の赤字にもつながり大きな問題となる。 ・これ以上赤字を増やさないためにも水道の広域化を検討する。
病 院	<ul style="list-style-type: none"> ・新病院では赤字はでないのか。 ・水道事業でも需給予測を誤ったことが赤字要因となっており、病院事業でもしっかりした将来予測を樹てるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の5年間は機器の支払い等により一般会計からの繰入が必要である。その後は黒字経営との試算があるが不採算部門もありなるべく繰り入れを少なくする方向考える。 ・しっかりチェックする。 ・水道事業や病院事業は市民がしっかり利用し支え良い病院にしていくよう提言する。

	(質 疑)	(回 答)
<p>3) 病院</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「病院を利用して下さい」と云うことは病気になるかと云うことか。水道事業も同じで節水したら良くなるわけではない。利用量が減少したら他にまわす努力も必要ではないか。市民に赤字を丸投げするな。 • 袋井病院の跡地に聖隷病院が入ると聞いているがどうか。 • 聖隷の問題はペテン掛けられたのではないか。 • 良い医者の確保を • 佐東地区の整備が遅れている中で、山崎邸の13億円購入や横須賀城跡を買うのか。 • 3億円の地震津波基金造成の件 • ごみ問題ですが、資源ギャラリーの分別について職員が遊んでしまう等、理解に苦しむ説明があったが、この問題は早急に結論を出すのではなく、市民の意見を聞いて結論を出すことを願う。(拍手) • ゴミ問題は消防寄付金のように暴走するのではなく。議員は市民の味方として活動願う。早急に議決するな。 • 南北道の整備促進を • 8名の市議が来ているが、それぞれの考えも聞きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 丸投げする考えはない。水道も病院も固定費がかかり使用しないと経営が苦しくなる実情も理解願いたい。 • 公立病院は儲けることだけでなく不採算部門でも市民を受け入れることもある。 • すでにオープンしている。袋井聖隷が新病院経営に影響する懸念もあり、2次医療機関の紹介に当っては新病院への覚書を両市長間で結んでいる。 • 医局の問題もあり難しい課題であるが、良い病院を目指ししっかり議論する。 • 山崎邸は1.3億円で買収した。横須賀城跡は現在土地鑑定中である。 • 県が職員給与のカットや議員報酬のカット等の財源捻出による市町への交付金制度を創設したことに呼応して、掛川市でも地震対策を推進する目的で、市民等の寄付や職員給与、議員報酬カットにより基金を造成する。 • あせることなくしっかり議論する。 • 整備中であるが一朝一夕には進まない。 • 今回は議会の統一意見を代表者が申し上げた。
<p>班長あいさつ</p>	<p>初めての経験で緊張した。水道、病院の問題等のご意見は全議員で共有し、また、議論し市政に反映する。</p>	